

# 第 26 回インテリジェント・システム・シンポジウム (FAN2016) サンプル原稿

○システム太郎<sup>1</sup> 情報花子<sup>2</sup> ( <sup>1</sup> × × 大学 <sup>2</sup> × × 株式会社 )

## Sample Manuscript for The 26th Symposium on Fuzzy, Artificial Intelligence, Neural Networks and Computational Intelligence (FAN2016)

\*T. Shisutemu<sup>1</sup> and H. Joho<sup>2</sup> (<sup>1</sup>University of XX <sup>2</sup>XX Corp.)

**Abstract:** This document describes the paper submission method and the style of manuscript. This document is a template file for a paper, although it is not necessary to strictly follow this format.

**Key Words:** Electrical paper submission, The style of manuscript

### 1 テンプレートファイルのダウンロード

pLaTeX2e を使用される場合は、FAN2016.sty と FAN2016sample.tex の 2 つのファイルをダウンロードしてください。FAN2016sample.tex は pLaTeX2e でコンパイルすることができます。FAN2016.sty と FAN2016sample.tex は UTF8 版と SJIS 版の 2 種類を用意しました。環境に応じて、ダウンロードするファイルを選択してください。

Microsoft Word (以下 MS-Word と略す) を使用される場合は、FAN2016template.docx をダウンロードし、原稿を作成してください。それ以外のワードプロセッサをご使用の方は、FAN2016template.pdf をダウンロードし、原稿の体裁がなるべくサンプルと近くなるよう原稿を作成ください。

### 2 原稿の体裁

原稿本文は英語、または日本語で記述してください。本シンポジウムでは、提出された PDF ファイルを原版として電子ファイルとして頒布いたします。閲覧・印刷に支障のないよう作成してください。また、原稿提出枚数は 4 ページから最大 6 ページにてお願いいたします。ただし、FAN 論文賞に応募しない場合は 2 ページから最大 6 ページとします。ページ番号は振らないでください。

#### 2.1 全体の体裁

A4 用紙 (US Letter は不可) の縦 250 mm, 横 180 mm の枠内に収まるようにしてください。余白は、上 20 mm, 下 27 mm, 左 15 mm, 右 15 mm とします。活字の大きさは、邦文題目と英文題目 14 ポイント, 邦文著者名と邦文著者所属, 英文著者名, 英文著者所属 12 ポイント, 節タイトル 12 ポイント, 小節タイトル 10 ポイント, 本文の活字 10 ポイントを目安としてください。原稿は、

- 邦文題名
- 邦文著者名 (登壇者に○印) と邦文著者所属
- 英文題目
- 英文著者名 (登壇者に\*印) と英文著者所属
- 英文アブストラクト (100 ワード程度)
- 本文, 参考文献

の順に書いてください。英文キーワードまでを 1 段組, 本文・参考文献を 2 段組にしてください。

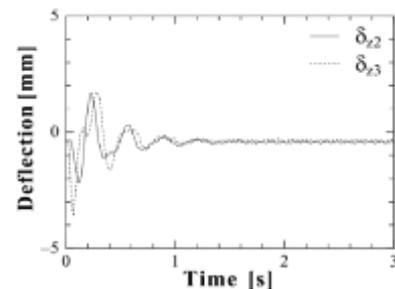


Fig. 1 A sample figure.

#### 2.2 図と表

図と表は、Fig. 1, Table 1 のように番号を振り (Fig. 1 参照), 本文中で引用する場合も「Fig. 1 に示す」などのように Fig と Table を使用してください。図と表のキャプションは、本文の言語に合わせるか、英語で記述してください。

図や表中の文字は小さくなりすぎないように気をつけてください。PDF 原稿を作成する際、図の画質が落ちないように、注意してください。特に MS-Word などで作成する際、JPEG 画像を貼り付けると、一度圧縮されている画像が再圧縮されるので画質が劣化するようです。貼り付ける画像は、画質の良い (圧縮率の低い) 画像を用いるか圧縮しない画像フォーマットを選ぶなど、各自工夫し、最終的な PDF ファイルにおいて画質が劣化しないよう注意してください。

#### 2.3 参考文献

文献の引用は本文中に<sup>1,2)</sup>のように書き、本文の最後に参考文献 (または References) としてまとめて記述します。次のフォーマットを推奨します。

##### (a) 雑誌論文の場合

番号) 著者: 論文題目, 雑誌名, 巻 (太字) -号, 始ページ/終ページ (年)

##### (b) 単行本の場合

番号) 著者: 書名, 始ページ/終ページ, 発行所, (発行年)

#### 参考文献

- 1) システム, 情報: 第 24 回インテリジェント・システム・シンポジウムサンプル原稿, 第 24 回インテリジェント・システム・シンポジウム予稿集, 99-9, 1/4 (2014)
- 2) システム, 情報: 計測自動制御学会システム・情報部門のあゆみ, 1/999, 計測自動制御学会システム・情報部門 (2014)